綱　領

1．吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2．吾々は、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3．吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成10年
1月1日
発　行
第159号

発　行　所
日本赤十字新労働組合連合会
（日赤新労）
東京都港区浜松町２－６－８
伸和ビル１Ｆ
ＴＥＬ(03)3433-3028
ＦＡＸ(03)3432-4560
発行責任者　浜崎健蔵

平成９年度

第三回中央委員会開催

運動方針案、予算案など審議

十二月十四日、十五日の両日、相模湾を一望する神奈川県横須賀市の「佐島マリーナ」において、平成九年度第三回中央委員会が開催された。

会議には、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等約八〇名の参加を得て、議題である平成十年度運動方針案や組合費の値上げについて、熱心な討議が展開された。

まず開会のことばの後、資格審査・成立確認（出席中央委員二四名、委任状四名）が行われ、議長に中井勉氏（高松日赤）、副議長に渡瀬義喜氏（唐津日赤）、書記に山田隆幸氏（芳賀日赤）が選出された。

審議に先立ち、梅村中央執行委員長が挨拶に立ち、平成九年度ベア交渉の経過説明に加え、九八年四月より退職勧奨年齢を一歳引き上げて六一歳とする退職勧奨制度に関して、内規準則の改正についての説明があった。今回の改正は、全施設での六二歳退職勧奨制度への足がかりとなり、日赤新労が主張する六五歳定年制への移行にも弾みがかかるもので、今後も引き続きその実現を目指していく考えが示された。

その後報告事項に入り、本部より各部報告、一般経過報告が行われ、審議事項では議題である平成十年度運動方針案や予算案、組合費の値上げについて、またその他として、センター部会の延長、扶養手当の支給要件について活発な討議が展開され、無事日程を終了した。

■報告事項■

一、各部報告

【組織部】
○福井血セなど、単組の内部強化を中心に活動

【教宣部】
○幹部研修会報告
テーマ＝「日赤の給与体系と昇格基準について」
講師＝賃金委員長・坂本樹由、出席者五九名
○初心者研修会
〔3B〕「日本赤十字社の機構と日赤新労」粕谷幸司、「給与のあらまし」梅村正一
〔5B〕「今、労働組合は」川島環、「給与のあらまし」浜崎健蔵
〔6B〕「平成九年度給与改正について」梅村正一
「医療業界における環境とは」都夢創専務取締役社長・藤井道義
○年末手当交渉のための宣伝ビラを作成

【調査部】
○年末一時金、年末年始特別出勤手当の調査を実施

二、一般経過報告

平成九年度ベアの妥結に至る経緯を中心に、本部活動の報告がなされた。

以上、賛成多数で承認。

■審議事項■

一、平成十年度運動方針案について

運動方針案については、各ブロック会議等で検討された修正点について審議が行われ、一部加筆修正の上で承認された。尚、「情勢の特徴」においては、従来通り今後の国内外の動きに対応して、大会までに修正することで了承された。

スローガン、闘争方針案については異議なし。

二、平成十年度予算案について

本部より来年度予算案の主旨説明があり、質疑なく賛成多数で承認された。

三、平成十年度本部役員について

役員詮衡委員長の武郷徹氏（三原日赤）より、前日に開催された役員詮衡委員会において、従来通り第一・二・三・五ブロックよりそれぞれ二名ずつ、第四・六ブロックについては会計監査委員を選出する旨の決定がなされたことが報告された。今後は、各ブロック及び単組代表者に本委員会の協議結果を尊重、協力していただき、各単組から推薦状を取りつけた上で、大会までに調整していきたいとした。

四、大会運営について

第三七回定期大会開催にあたり日程等の連絡、大会役員の確認が行われた。

日時＝平成十年二月二十二日（日）～二十四日（火）
場所＝「ホリディイン・クラウンプラザ豊橋」

五、組合費値上げについて

第二回中央委員会に引き続く継続審議事項で、現在の七百円の組合費を百円引き上げて八百円とする本部提案に対して、各ブロックよりブロック会議での審議結果が報告され、賛成多数で承認された。尚、本議題は規約改正に係わるため、定期大会に提案されることになった。

六、その他

(1)センター部会の延長について（第一ブロック提案）

前記提案に対し、本部より専門部会全体の時間枠を拡げたいとの提案があり、第一回中央委員会時に開催される専門部会については開催時間を二時間拡大することで承認決定された。

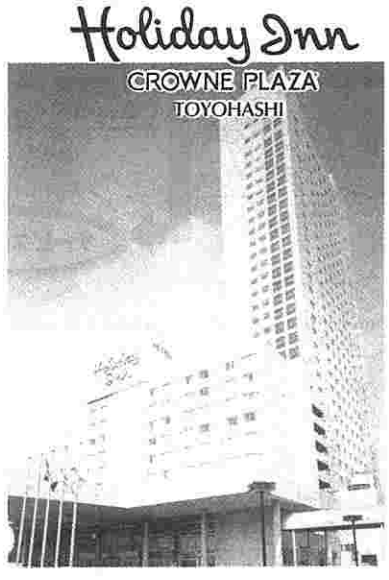
(2)扶養手当の支給要件について（福井血セ）

支給要件について、各施設での運用が統一されていない実態を踏まえ、早急に調査し対応してほしいとの意見が出された。本部は、他の施設での現状も把握して、今後も引き続き取扱いの統一化を本社に申し入れていくこととした。

組合費の値上げ　定期大会に提案

第37回 定期全国大会案内

○平成10年2月22日(日)～24日(火)
○愛知県豊橋市藤沢町141



皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます

執行部一同

謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

日赤新労加盟単組の組合員の皆様には、ご家族お揃いでお健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。本年も相変わりませず、ご厚情の程よろしくお願い申し上げます。

さて、九七年を振り返りますと、橋本首相の掲げた行政改革は、意志のみが空回りして当初の目標から大きくずれ込み、また、緩やかな回復過程にあったはずの景気回復も足踏み状態に修正され、都市銀行や大手証券会社の経営破綻が世間を騒がせました。

九八年　年頭にあたって

中央執行委員長　梅　村　正　一

労働界にあっては、労働に付随して第三次医療法の改正へと大きな変革の時代を迎えようとしています。血液事業においても、より安全な輸血用血液供給に向けて、放射線照射に端を発し、製造承認などまだまだ課題となりましょう。

経済情勢も、まだまだ先行き不透明な状況下にありますが、今春闘で連合が目指す「経済成長率を二％に押し上げるための賃上げ目標」を大いに期待したいものです。

また、九七年度補正予算に盛り込まれる二兆円規模の特別減税は、マイナス成長にあった日本経済成長率を〇・四％押し上げる効果が見込まれ、歓迎すべき措置です。

日赤新労は、第三回中央委員会において平成十年度の運動方針を審議し、その方向性を決定致しました。二月に開催される第三七回定期全国大会においては、九八年度ベアや諸要求事項を最終審議し、本社との交渉に臨むことになります。実りある大会にするためにも、是非多くの皆様のご参加をお願いする次第です。

最後になりましたが、今年が組合員並びにご家族の皆様にとって幸多き年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成十年　元旦

法関連法が改正され、今後は時間外の取り扱いが「目安時間」から法的規制のある「上限枠の制定」への検討が行われています。

一方、医療界においては介護保健法が成立し、それ解決すべき多くの問題を抱えております。いずれにしても、医療、血液、福祉事業と赤十字に働く者としては、今後、変革の時代に見合った経営戦略をいかに提言し推進するかが大きなのです。

各単組から　新年のごあいさつ

千葉血液センター　職員組合

新年明けましておめでとうございます。

私ども県内には千葉県赤十字血液センター、千葉県船橋赤十字血液センターと五つの献血ルームがあり、輸血用血液及び分画製剤原料血漿を確保するため、また、それを医療機関に供給するため、日夜頑張っております。

このような中、昨年は組合主催で「千葉ロッテ×オリックス戦」を千葉マリンスタジアムで観戦（少しずつ夏めいて来るビールのおいしい季節）し、夏には家族揃って奥久慈での鮎のつかみ取り（普段とは違う穏やかな顔で家族サービス）や、ヨーガ・ストレッチ体操（年々言うことを聞いてくれなくなる身体に鞭を打ち）を行いました。

また、勉学の秋には松岡二郎先生をお迎えし、「労働法」についての研修会も行い、あっという間に一年が経ってしまいました。

今後とも、当組合が組合活動を進めていく上で、皆様のご指導、ご鞭撻は不可欠と存じますので、何卒宜しくお願いいたします。

最後に、年頭にあたり、日赤新労の益々の発展と各単組組合員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

（厚生部長　染谷日登美）

原町赤十字病院　職員組合

新年明けましておめでとうございます。

原町赤十字病院は群馬県の西北部に位置し、近隣には名湯で知られる草津温泉や伊香保温泉等、多数の温泉があり、リゾート地として県外からの観光客も多数往来している所です。

我が職員組合は規模の小さい単組ですが、小さいながらも組合活動が充実したものになるように、執行部や各部署役員一同、日々努力を重ねています。

このような中、毎年行われているのが福利厚生でのバス旅行です。日帰り旅行ですので場所は限定されてしまいますが、今までにディズニーランドや新潟への買物ツアー、日光江戸村観光等を行ってきました。

また、最近の組合離れは当単組だけではないと思いますが、当単組では組合員であることのメリット性というものをこれからの課題として、組合離れの防止に役立てたいと思います。

最後に、母体であります病院も老朽化し、建設予定もあり、そういう中での今後の諸手当等の要求は、今まで以上に厳しいものになっていくものと予想されます。今後とも日赤新労の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

甚だ簡単ではありますが新年の挨拶にかえさせていただきます。

（執行委員長　滝澤幸男）

北から南から

もう食べられナーイ！

飯山赤十字病院職組

皆様もご存じの通り、長野県には海が無く、したがって私たちは海の幸が大好物です。

ビンゴゲームで豪華景品（？）をゲット！

そんな事もありまして、総勢六二名が参加して、タラバガニ、ズワイガニ、紅ズワイガニの食べ放題、越後の銘酒（八海山）の飲み放題という趣向で忘年会を行いました。

最初は皆、真剣に食べていましたが、だんだんとペースが落ちてきて、最後には「もう食べられナーイ！」という悲鳴があがり、大笑いしました。

途中、ビンゴゲームを行ったのですが、景品に納得する者、女性用の景品に戸惑った男性もおり、楽しい一時を過ごしました。

ここで、嬉しい事がありました。まだ未加入の職員が、みんなと一緒に楽しい時間を過ごしたいから、組合に加入したいとの申込みがあったのです。勿論、組合員全員で熱烈歓迎いたしました。

まだまだ小さい当組合ではありますが、今後もいろいろな事を通じて組合の団結を図っていきたいと思っています。

（執行委員長　小出直治）

組合結成三〇周年

三原赤十字病院従組

日赤新労組合員の皆様、健やかに新年をお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げます。

おかげさまで、当組合は昨年組合結成三〇周年を迎えることができました。本年もこれまで同様、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

三原市では、毎年八月の第二日曜日を含む三日間、毛利元就の三男の小早川隆景が我が国初の海城三原城を築いた際、その完成を祝って踊り始められた四三〇余年の伝統を持つ「やっさ踊り」が行われており、三味線、太鼓、笛、金正の音にあわせた踊りの渦が町中を練り歩き、三〇数万人の人出で賑わいます。当組合も、この日ばかりはRED・CROSSのハッピと短パンを身にまとい、踊りに参加しております。

さて、医療現場に目を向けますと、本年度におきましては、厚生省の医療費抑制策が強力に推進され、今後一層厳しい医療環境が予想されます。

今こそ、組合員の真価が問われる時ではないでしょうか。

当院においては、数年来の懸案事項でありました病院建物の増改築工事が終了し、我々組合員は労使協調路線の基盤にたって、二一世紀に向け、絶えず新しいニーズに対応できる地域中核病院を目指し、経営改善プロジェクトチーム、サービス向上委員会に積極的に参加していく考えです。

また、「働きがいがある」「働いてよかった」と誇りが持てるように、一人一人が問題意識をもって活発な意見交換を行い、労働条件や労働環境の改善に努めていきたいと思っています。

最後に、日赤新労の益々の発展と、組合員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

（執行委員長　福本秀和）

賑やかに繰り広げられた「やっさ踊り」

介護休暇

―2000年度から実施―

2000年４月から、寝たきりや痴ほうの高齢者への介護サービスを、40歳以上の国民が支払う保険料と公費によって賄う新たな公的介護保険制度がスタートすることになりました。

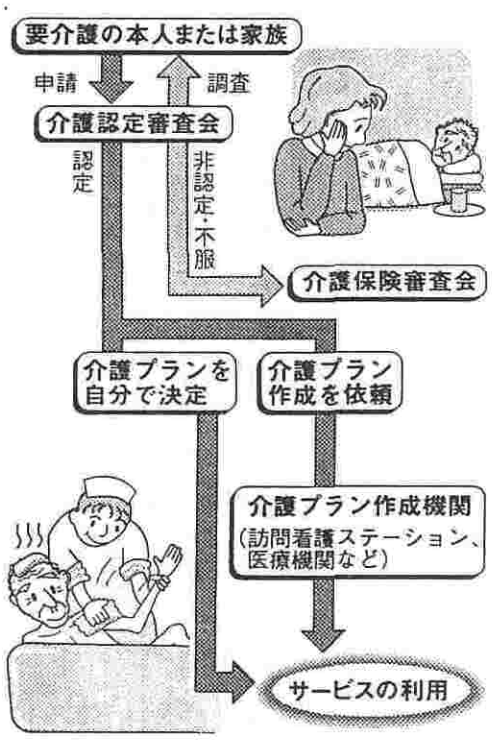
介護保険料は制度導入時の2000年度で、毎月１人平均で２千５百円と見込まれています。

40～64歳は医療保険料とあわせて徴収され、企業や国が半分を負担することになりますが、65歳以上は原則として年金からの天引きで、全額自己負担となります。

ホームヘルパーの派遣や特別養護老人ホームへの入所など、同制度による介護サービスを受けるためには、制度を運用する市区町村の認定が必要となりますが、特に、40～64歳の加入者は、若年性痴ほうや脳血管障害などの老化が原因で介護が必要となったケースに限られます。

厚生省によると、利用者はかかった費用の１割を負担することになりますが、１カ月の負担額は、在宅サービスで６千円から２万９千円、施設サービスで４万７千円から６万千円と試算されています。

介護サービスを受けるための手続き



がんばれホークス　今年こそ優勝を！

今津赤十字病院新労組

私たち今津日赤新労組では、九年度から新しい組合行事として、福岡ダイエーホークスの応援ツアーを組み入れました。

福岡には九州で唯一のプロ野球チーム、福岡ドームを本拠地とするダイエーホークスがあります。豪快なバッティングが売り物の、攻撃型のチームですが、毎年Ｂクラスで終わっています。王監督が就任して、一年目二年目ともに見事な最下位でしたが、三年目の昨年は前半戦でなんと首位を争っていました。

私たち組合員とその家族は、五〇名の団体でダイエーの初優勝を願ってドームへと出かけました。

試合は対オリックス戦。イチロー人気で盛り上がるスタンドは、五万人近い観客で埋め尽くされていました。さて試合のほうはと言えば、終始オリックスペース。ダイエーの良いところと言えば小久保の一発のみで、一対五で九回の裏へ。

しかし最終回、ダイエー得意の閉店間際の反撃、一死満塁でバッターは秋山。ここで一発出るとたちまち同点の場面。ドームの中に響きわたる歓声。しかし期待も空しく、ダブルプレーでゲームセット。「ああ～」全身の力が抜けるような溜め息が、ドームの中を漂っていきました。試合には負けてしまいましたが、ビール片手に大声を出して、日頃のストレスを解消できた楽しい一時でした。

今年こそ優勝するぞ！がんばれホークス！

（執行委員長　白石　浩）